

自主 自律 自治

暁中学校令和4年度 2年生

学年通信 第7号

令和4年6月13日 発行

スマホ・ケータイ安全教室



金曜日の3限に講師の先生をお招きし、スマホ・ケータイ安全教室が実施されました。生徒たちにとって非常に身近な存在となったスマートフォンや携帯電話。正しく有効に使うことができれば、とても便利なものです。カメラ機能や家族・友達とのやりとり、インターネットに接続した通信・検索機能など、活用の仕方は無限に広がっていると言っても過言ではありません。現代のテクノロジーが生み出した、世の中を大きく変えた発明といえます。

そのような便利さを、すべての人が有効に活用できているでしょうか。スマートフォンやインターネットは非常に便利なツールですが、正しい知識をもっていないと、簡単に加害者にも被害者にもなってしまいます。

【 スマホやインターネットにひそむ危険性・問題点 】

- ◆ 不特定多数の人たちと交流することが可能です。
- ◆ 個人情報の管理がずさんになりやすくなります。
- ◆ 個人情報を偽ったり、匿名でも掲載できたりするので、掲載する内容が過激になりやすくなります。
- ◆ SNSをはじめとするコミュニティサイト(無料通話アプリを含む)での犯罪被害が急増しています。
- ◆ 不適切な投稿で、人生が変わってしまうかもしれません。



スマートフォンやインターネットを使用する際に注意しなければならないことは、その匿名性であると思います。普段、家庭や学校などで会話をするときには、面と向かって話をしていきます。当然「誰が、どのように、どのような気持ちで」会話をしているのか、理解したり推測したりすることができます。しかし、スマートフォンやインターネットでのやりとりは、その多くが相手の顔が目の前にある訳ではありません。相手のことを知っているか否かに関わらず、画面の向こうの「見えない相手」とのやりとりが中心となります。

目の前に見えないだけで、相手は必ず存在します。そして、その相手も一人の人間です。様々な考えをもち、一つの言葉で感情が揺さぶられます。スマートフォンやインターネットを媒介として、人との繋がりは飛躍的に広がりました。しかし、その分トラブルの種は確実に増えていることを忘れないでください。相手が見えないやりとりだからこそ、自分の行動に対する責任感を強くもつ必要があります。メールやSNSの投稿は、画面上から削除することはできますが、インターネット上には存在し続けます。そして何より、相手の心に刻まれた記憶は、誰にも消すことができません。スマホ・ケータイ安全教室に参加し、多くのことを考えるきっかけとなりました。生徒の皆さんも今回の学びを、日常生活に生かせるとよいですね。

【 スマホ・ケータイ安全教室を終えた生徒の感想 】

- ・ 軽い気持ちで、ネットに悪口や人の嫌がることは書き込んではいけないと思った。
- ・ 匿名でも、調べれば誰が書き込んだかはすぐにわかってしまうと思うと、「バレないからいい」という考えは捨てるべきだと改めて感じた。
- ・ 一歩間違えれば、法律に触れてしまうことがあるということは、すごく勉強になった。
- ・ 自分のスマホに制限をかけられて嫌だと思っていたけれど、ネット上の危険から自分を守るための設定だということがわかった。
- ・ ふざけて始めたことで犯罪に巻き込まれてしまうので、使い方に気をつけなければいけないと思った。
- ・ 自分も少しネット上の人と関わったことがあるので、会わないように気をつけようと思った。